

A C E 同 窓 会 会 報

発行所
愛知工業大学情報電子専門学校同窓会
豊田市陣中町1-21-1
TEL <0565> 32-8181



長 田 昭 二
校 長 吉

ⅠT革命と私達

最近、ⅠTなる言葉が氾濫し、毎日の新聞の政治面、経済面、社会面にもⅠTの文字が数多く見られます。ⅠT革命、ⅠT基本法、ⅠT担当大臣等々と、これらからもⅠTの重要さが分かります。ⅠT革命は、かつての産業革命と対比しての言葉で革命と名がつくように、産業、経済、社会に大きな変革、発展をもたらす意味です。

ⅠT基本法は、本年一月六日に施行された「高度情報通信ネットワーク社会形成基本法」のことで、この法律は情報通信技術の活用により、大幅な社会経済構造の変化に的確に対応するために、高度情報通信ネットワーク社会の形成に関する施策を推進する目的で設けられました。

Information Telecommunication

と解すべきと私は考えています。情報なるものは、処理し蓄積して置くだけでは価値がありません。すなわち、情報は通信手段によって発進し、伝達しなければ役に立ちません。ⅠT基本法もそれを示しています。

ⅠTは電子工学に基礎を置き、情報工学と通信工学が結合し、ⅠT革命となって産業、生活、交通、金融、医療、環境……へと拡大し、発展し続けています。

本校は、十年近く前にこのⅠT社会を予期して開設された情報電子専門学校です。そして、情報通信ネットワーク構築のための国家資格「工事担任者」養成校として昨年十一月十七日、郵政大臣から認定されました。

さて、このような歴史と伝統を誇る愛知工業大学情報電子専門学校同窓生の皆さん、新しい二十世紀を迎えて、ⅠT革命社会の中心的担い手として、自信と不屈のバイタリティを持って日々研鑽につとめ、大いに活躍して下さい。大いに期待しております。

資格取得状況

平成十二年度の資格取得状況を左表に示します。

試験の種類	初級	1級	準1級	中級	2級	準2級	初級	3級	計
1 ネットワークスペシャリスト試験									1
2 第1種情報処理技術者試験									2
3 高度情報処理技術者能力検定試験									4
4 第2種情報処理技術者試験									10
5 システムアドミニストレータ試験									5
6 情報処理技術者能力検定試験		8			24				30
7 情報処理活用能力検定試験		2			18				20
8 C言語プログラミング能力検定試験		1			8				18
9 Illustratorクリエイター能力検定試験		1			2				3
10 Photoshopクリエイター能力検定試験									0
平成12年度は受験せず									
11 CG検定試験					2			5	7
12 PageMakerクリエイター能力認定試験					4			3	7
13 ホームページ作成技術能力検定試験					1			16	17
14 デジタル技術検定試験								9	9
15 工事担任者試験(デジタル1種)									5
16 工事担任者試験(総合種)									1
17 CAD利用技術者試験		2			24				26
18 CADトレース技能審査					2			13	15
19 トレース技能検定試験					1			24	25
20 日本語文書処理能力検定試験	1	1	1		1	5		7	16
21 日本語ワードプロセッサ検定試験		1	1			5		3	10
22 Excel表計算処理能力検定試験						27			72
23 日本語漢字能力検定試験					2	8		13	23

求人・就職状況

平成十二年度卒業生に対する求人企業数、求人数および求人倍率は、三百四十四社、八百五十六人および十二・一倍と過去最低を更新する厳しい結果でした。ただし、学科/専攻を指定した求人数に変化は殆どなく、情報系学科への専攻指定の求人はかつて増える結果となりました。さらに、今年度後半には求人への追加募集を行う企業も数社出てくるなど、後半ややフォロワーの風が吹きました。

同窓会実施

平成十二年九月二十五日(日)に同窓会総会を学校で実施しました。

平成十一年度収支報告と平成十二年度予算案が可決されました。また、平成十三年度から新幹事として①平成八年電子制御コース卒 渥美雄大氏と②平成十年CAD/CAMコース卒 市川佳希氏の二名にお願いすることが決まりました。

懇親会は四年続けて学校近くの新ユニークパバというパブで行いましたが初めての日曜日開催のため出席者が減りましたので今後は土曜日に開催とすることにしたいと考えています。

平成十二年度卒業式

平成十三年三月十七日に本校にて行われ、専門士の称号が与えられました。

同窓会長賞には、母校より推薦を受けた、情報工学科の水谷繁夫君が受賞し、当日、水谷会長より、賞状と副賞のアルバムが手渡されました。

卒業生は八十三名で学科別の内訳は次の通りでした。

- 高度情報 12名
- 情報工学 37名
- 電子制御 15名
- CAD・CAM 19名

平成十三年度入学式

四月七日に行われて七十八名が入学しました。

今年に残念ながら昨年に比べて十人減少しました。情報工学科のプログラミング専攻とCAD・CAM学科が半数近くにまで減少したことによるものです。ただ、マルチメディア専攻は増加しました。

学科別の内訳は次の通りです。このうち女性是一名です。

- 高度情報 14名
- 情報工学 38名
- 電子制御 12名
- CAD・CAM 14名



卒業生だより

東京暮らし



高専情報学科H12年卒
大 津 久 幸

私は昨年の春に新入社員として今の会社に入社しました。入社後はしばらくの間は東京勤務というところで、今は東京都内で働いています。みなさんは東京で働くというイメージが頭の中で浮かびますか？都会の生活にあこがれている人もいるでしょう。しかし都内(特に私が勤務している範囲である、港区、品川区、渋谷区、世田谷区、目黒区、大田区)は大きな道路がたくさんあり、人通りや車が沢山あります。

私は高校時代から自分なりに環境について考えてきました。都内で生活していると、空気の汚れがはつきりと分かりました。高ビルなどに行くと周りの景色に黒くよんだ霧がかかっているのが目ではつきりと確認できます。天気の良い日は富士山が見れる場所もあります。

私の今の仕事は端末の保守をしていますので環境とはあまり関係ないように見えますが、私は、端末をきちんと保守する事

で産業廃棄物を少しでも減らせるとして仕事をしています。みなさんも就職したらこういった仕事を別の角度からみてみるのいいと思いますよ。

【ネットワーク系】勤務



プログラミング専攻H11年卒
下松谷 秀 一

時間を大切にしよう

私は、ここ愛知工業大学情報電子専門学校を卒業し、今はコンピュータ関連会社で働いています。

学生時代はプログラミング専攻に所属していましたが、机上の仕事ではなくお客様を相手にした仕事をしたくて、コンピュータの保守・導入・ネットワーク関連業務を客先でやるユニテックスという会社に入りました。

最初は学生時代とは違う人間関係や、慣れない客先対応など戸惑うことも多かったのですが、もうじき入社二年ということなので、責任ある仕事も徐々に任せられ勉強勉強の日々を送っております。

社会人と学生の大きな違いとして、責任感が違うということ

が上げられると思いますが、一番はやはり休みが少なくなったことと、運動する機会が減ったことだと思っています。春休みが無いし夏休みも冬休みも短いということ、休みが半分くらいになった感覚です。仕事は仕事でさつちりやり、休みは休みでしっかりと楽しむ。これをうまくやるのがまさに重要だと感じた二年でした。

将来は、実力・知識を豊富に持ち、自信たっぷりにお客様と円滑にやっていけるようなビジネスマンになれるよう努力していきたいと思っています。

【ユニテックス】勤務



電子制御コースH9年卒
大 高 敦

新しいことへの挑戦

時が経つのも早いもので学校を卒業してから四年という時間が過ぎました。学校に通っていた頃が、つい最近のように思われます。

学校卒業後、今の会社に勤めています。学校で学んだ知識を生かせる場は、まだまだたくさんあります。が、物事に対する考え方、姿勢は大いに役にたっています。

今思えば専門学校という所は、自分にとって知識を得るのにはもちろんのことではあったのですが、それ以上に「新しいことへの挑戦」という、人間にとっていつまでも持ち続けたい精神を教えられたと卒業した後、つくづく思いました。

仕事にも遊びにもとにかく一生懸命に取り組む、学校で学んだ精神で新しいことから逃げることなく向かい合っていきたいと思っています。

部品等の品質を管理する職場になりました。この会社に入り、学校で学んだ知識を生かせる場は、まだまだたくさんあります。が、物事に対する考え方、姿勢は大いに役にたっています。

今思えば専門学校という所は、自分にとって知識を得るのにはもちろんのことではあったのですが、それ以上に「新しいことへの挑戦」という、人間にとっていつまでも持ち続けたい精神を教えられたと卒業した後、つくづく思いました。

仕事にも遊びにもとにかく一生懸命に取り組む、学校で学んだ精神で新しいことから逃げることなく向かい合っていきたいと思っています。

【日東工業(株)】勤務



CAD・CAM専攻H11年卒
森 本 結 香

私の仕事

私は今、自動車部品の搬送装置の製図をしています。もうすぐ二年がたちますが、まだまだわからない事だらけです。が、がんばっています。

私は、まだ装置のことはまったくわからないので、上司の指示をうけて、図面の変更をします。大変ですがやりがいがあります。

部品の品質を管理する職場になりました。この会社に入り、学校で学んだ知識を生かせる場は、まだまだたくさんあります。が、物事に対する考え方、姿勢は大いに役にたっています。

今思えば専門学校という所は、自分にとって知識を得るのにはもちろんのことではあったのですが、それ以上に「新しいことへの挑戦」という、人間にとっていつまでも持ち続けたい精神を教えられたと卒業した後、つくづく思いました。

仕事にも遊びにもとにかく一生懸命に取り組む、学校で学んだ精神で新しいことから逃げることなく向かい合っていきたいと思っています。

学校で習った事は、ものすごく役に立っています。CADの機種がちがっていたので、最初は、操作を覚える事からはじまりました。一から覚えなくては行けないので、大変だと思いましたが、学校でCADをさわっていたし、意味をわかったのでもわりと早く覚えられました。CAD操作だけではなく、機械の話も聞いていて、まったくわからない事はありません。

三次元CADも、仕事に打ち込む事が決まり、もうすぐ講習に行く事になりました。三次元CADも学校で教わった事をいかして、がんばっていきたいです。

もっとCADを自分の物にして、がんばりたいです。

【英立工業(株)】勤務



CAD/CAMコースH7年卒
北 本 遼 哉



CAD/CAMコースH8年卒
北 本 美 佳 (旧姓 石川)

毎日が勉強

この文章を書くことになって改めて、自分が専門学校を卒業

してもう六年経ったということを実感しました。

父の経営する会社に入社する為、それまで勤務していた名古屋の会社を辞め金沢に引越しし、現在同じ学科を卒業した妻と一緒に仕事をしています。

主に、製品図面やフライス加工・ワイヤー放電加工・研削加工・CAD/CAM設計などの機械加工や経理・経営に関することなど毎日忙しい生活ですが充実感があります。

それでもひとつのことをするのに効率よい手順を検討したり、注意点を再確認したり、外部の講習会を受講したり、参考書やカタログを読みあさったり、家に帰った後も徹夜で勉強したりと、卒業した今でも覚えることは多いです。

又、実際社会人になった今でも気持ちだけでは駄目という事が度々あります。そういう時、経験している人ってすごいと思います。自分もそうなりたいと気持ちを忘れず、これから先も頑張っていこうと思います。

【(株)カナエ】自営



学 科 だ よ り

高度情報学科

助教 山田 一敏

高度情報学科の卒業生の方は知っているとありますが、情報処理技術者試験の名称、内容が変わりました。第二種は基本情報技術者に、第一種はソフトウェア開発技術者に、また、ソフトウェア開発技術者試験にはプロダクションエンジニアの内容が加わり午後試験が二科目になりました。しかし、二年間ほどは今までのレベルで午後II試験を突破できるようなので、安心を。また、初回は合格点が下がるようなのでチャンスです。ところで受験票は出しましたか？

十二年度入学者は全員が一種資格取得専攻で十名(一名休学中)、ネットワークエンジニア専攻希望者はいませんでした。資格取得の必要性を強く感じたためカリキュラムを一部変更し、夏休みに一週間、第二種情報処理対策講座を実施。また、後期からの二種対応の試験対策講座ではレベルに合わせた授業を行うために、クラス分けを行いました。二人の先生で実施しましたので結果が出る五月末が楽しみです。

一方卒業生ですが、一種資格取得専攻(三年制)六名、システム構築専攻(三年制)六名、一種資格取得専攻(二年制)一名です。就職活動は順調に進み、夏休み前に70%、卒業時には

100%決定しました。高度情報学科としての就職活動は二年目になりますが、企業の評判もよく、職種もほとんどが情報系、通信系に決まり目的を達成したと思います。企業の方が三年生課程のカリキュラムを高く評価していただいたことによるものだと思います。

最後に資格取得ですが、一覧表にありますようにネットワークスペシャリストの合格者を輩出することができ大変感激しました。

情報工学科

教授 島 悦郎

卒業生の皆様にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。本校の近況については、就職状況、大学への編入学、学校設備の順でご報告申し上げます。

まず、就職に関しましては、ITブームに支えられ、昨年より多い求人を見られました。特に就職活動後半に追加募集企業が数社出てきました。お陰を持ちまして、初めてお世話になる企業も何社か出てきました。また、学生の中には、内定を頂いた後に、一種技術者試験に合格、企業へ嬉しい報告を行った場合も出てきました。ITブームとは言え、厳しい就職環境の中、良くと頑張ってくれたと思っていま

す。こうした学生諸君の地道な実績が専修学校卒の社会的地位の向上を図るものとして、今後とも期待しているものです。

次に、大学への編入学についてですが、愛知工業大学三年生への編入学をはじめ、豊橋技術科学大学三年生への編入、中部大学三年生への編入と、制度ができて二年目ながら、素晴らしい実績を残してくれました。これからもACEからいろいろなところへ進める選択肢の一つとしての役割を担ってくれるものと思っております。本校で即戦力となる技術を習得し、さらにその周辺技術の理論的な裏付け、最先端研究レベルの技術等を大学で学ぶこともまたすばらしいことで、大学での活躍を期待しているところです。ちなみに、愛知工業大学の三年生に一回目の推薦編入学制度で入学した学生諸君の成績はおおむね良好と聞いています。嬉しい限りです。

最後に、学校の設備ですが、平成十二年十月より実習室コンピュータの環境が改善されました。CG専攻の学生全員にその道の人には有名な3D Studio Maxのソフト環境、さらには、必要に応じてMayaというソフトも使用できる環境を整えました。平成十三年四月からはCG専攻やマルチメディア専攻ではMacintosh G4を使います。もちろん、プログラム等の実習で使用するWindowsパソコンも性能アップを図り、ハード、ソフトともますます充実します。

今年度の学生がCGARTS協会学生CGコンテストの静止

画部門の一次審査に通過しました。応募作品564作品中の65作品の中に二作品入る快挙です。環境が良くなり、ますます良い作品を作ってくれるものと、期待しているところです。

電子制御学科

教授 掛布 英辰

みなさんお元気ですか。昨年度の電子制御学科は少し変化がありましたのでお知らせします。まず、昨年十月、後期より、新しく田中先生が赴任されました。今まで企業にいた先生で、特に自動制御関係が専門です。授業でも自動制御や電子制御実験を担当しています。最新の自動制御に関する技術をよくご存知ですので、田中先生の力をお借りし今後いっそう制御関係の授業や実験を充実させて行きたいと思っております。田中先生ご自身のことについては紹介記事を読んでください。

実習関係では実習をさらに充実させるため、先に書きました電子制御実験が新たに加わりました。これは、工場内の自動制御には欠かせないのでできないシーケンサコントローラを用いた制御実験や産業ロボットの制御実験などのメカトロニクス関係のテーマが中心となっております。

資格試験関係では、国家資格である工事担任者試験関係の授

業を充実させることにより、平成十二年四月の入学生から、試験科目三科目(基礎・技術・法規)のうち、全科目について基礎科目の試験免除認定校の指定を郵政省(現総務省)より受けました。これにより昨年度は一年生でもアナログ・デジタル総合種、デジタル一種の合格者が出ています(技術・法規の二科目合格、卒業と同時に申請により資格取得)。

昨年十月に開催されましたマイクログラウス中部地区大会(第十九回大会)では、全部で十四台走行し、本校からは三台のうち一台が敢闘賞をいただきました。

最後になりましたが、半村先生が定年を迎えられ、この四月からは特任授業として、専門学校では電子回路の授業のみを担当され、また、名電高校の計算機システムの責任者としても活躍されることとなりました。

CAD・CAM学科
特任教授 棚橋寅之祐

平成十二年度は世相を反映してか、大学卒業生二名、社会人二名が入学しました。この傾向は次第に強くなるように思われます。

十一年度の就職は大変厳しい年でした。十二年度の就職活動は残念ながら一名の未定者がいますが、一名以外は比較的好まれた年となりました。新しい会社としてトヨタテクノサービスタに男女各一の名が内定しま

した。学科の状況ですが、CAD・CAM学科に新しく橋本先生が来られましたので林先生が「二次元CAD1と2」、橋本先生が「三次元CAD」と「CAM」になりました。

「機械製図」は長年担当していただいた安藤先生から橋本先生にバトンタッチしました。

「機械材料」は棚橋が担当していましたが愛知工業大学の井村先生に担当していただくことになりました。ビデオやプロジェクターを多用されることとしますので面白い授業になることと思われま

CAD利用技術者試験対策のための「CAD概論」は棚橋から林先生に代わります。棚橋が担当していた「数学」も前期のみにしました。

棚橋は学校全体の就職活動支援に力を入れることになりました。林先生は一年前より新しく受験を始めました「CADトレース技能審査」を含め資格試験対策に力を傾注します。その成果として二つのCAD関係の資格の合格者が増加しました。

毎年就職活動の時期が早まるので、三次元CADを殆ど履修しないで自分の適性を分らないうちに会社と職種を決めなければならない状況がでてきているので、一年生の後期の終わりに三次元CADのさわりを勉強することにしました。

皆様の仕事の状況を知りたいと思います。是非機会を見つけて学校に立寄ってください。

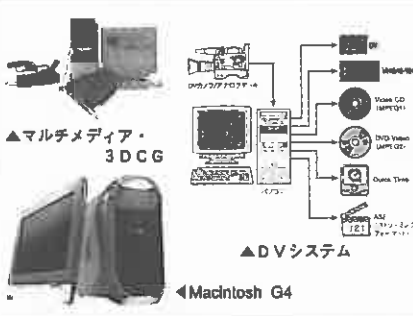
トピックス

情報工学科 実習設備更新

情報技術とその応用分野の拡大は日々加速し、劇的な進歩を遂げております。最新の知識や技術を修得した学生の育成に努める本校では、毎年カリキュラムの見直しと設備の更新を行っております。

平成十三年度はマルチメディア関連の設備更新に力を注ぎ、新規に購入した設備は次のとおりです。

マルチメディア、3DCG関連の実習を主な目的とした高性能パソコン日立FLORA370五台、最新のMacintosh G4とスケルトン仕様のディスプレイ各十五台、その他パソコン実習用に日立FLORA330二十台を導入し、教育体制の充実を図っております。特に日立FLORA370には、放送業界でも使用されている



ビデオ・オーサリングツール Canopus DVSTORMを搭載しております。デジタルデータを取り込み、編集し、DVDやアナログビデオなどの媒体へ出力するオーサリング技術を習得します。さらに、3DCGのモデリングからアニメーションまでを実現する3DCGソフトStudioMAXとそのアニメーションをよりリアルに表現するCharacter Studioをインストールし、プロなみの環境で本格的な3DCGの制作を学ぶことができます。

また、Microsoft社とキャンパスアグリーメント契約を結び、常に最新バージョンのMicrosoft製品が提供されるとともに、学生が所有するパソコンにもこれらのソフトを無料でインストールすることができま

新任者ご挨拶



電子制御学科助教
田中正史

FA (factory automation) 分野の企業で制御技術に十五年間関わり、平成十二年十月よりACEの皆さんの仲間入りをして、電子制御学科の担当をしております。

電子制御技術というのは日進月歩の世界であり、皆さんが使われている携帯電話やパソコンなど、三ヶ月もすれば新製品に置き換わってしまう世の中です。

この時代の変化に伴い最近の企業の採用方法も変わってきております。以前は採用後に社内



CAD・CAM学科助教
橋本秀則

二年前から非常勤講師としてCAD実習のお手伝いをしてきました

自身の経験からしてここ数年の就職難、企業内の厳しさは十分認識しているつもりです。しかしその様な状況下に於いても、固有技術を有する人のニーズは以前にも増して上がっている事も事実です。

すなわち会社にとって、なくてはならない存在になる事。その為には、当り前の事を当り前として出来る。プラス、何かに勝る事を身につける事が必要であり、又それをやるうとする気持ちが必要だと思

クラブだより

軟式野球部

昨年夏の県大会三位メンバーが七名残り、今年も部員集めが楽にできると思っていた。しかし、実際ふたをあけてみるとたいへんで高校野球経験者にはことごとく断られ、何とか三名の選手と一名の女性マネージャーを入部させることができた。

就職試験、愛工大編入のための補習が夏の県大会日程に重なることがわかったため、マネージャーを選手登録してのぞんだ。対トライアデントコンピュータ専門学校との一回戦は水野が好投、最終回に一点は取られたが五対一で勝利。対国際トラベル専門学校との二回戦は平岩が好投、打線も爆発し、十一対二で勝利。対トライアデント健康科学専門学校との準決勝では、連戦の疲れと、体力、実力の違いを見せ付けられ、〇対十一で完敗。

今年度から実施されることになった三位決定戦は瑞穂球場で、YMCA専門学校と対戦した。最終回三點差を追いつきサドンデスの末、七対六で勝利、二年連続の三位になった。大会期間中は怪我などもなくマネージャーの出場はなかった。本人はでたかつたかもしれないが私はほっとした(笑)

春の大会までに一名が入部したが、勉強、就職などの理由から三名が出場を辞退したため、一名を急遽登録し、大会にのぞ

んだ。急造チームのわりにはがんばったが、三対六で一回戦敗退。
E-mail:yamadada@ace.aitech.ac.jp
(監督) 山田 一敏

サッカー部

サッカー部設立当初のことが懐かしく思い出されます。サッカーの知識も経験もない私が、みなさんの熱意に負けて顧問兼監督をお引き受けしたことを記憶しております。リーグが発足し、サッカー人気絶頂の年でした。

時は過ぎ、リーグ人気下降に合わせるかのように、本校サッカー部の部員数も減少しております。今年度の新入部員はわずか一名、今後の存続が非常に厳しい状況となっております。

部活動は、通常の学校生活では決して得られない学年やクラスを越えた交流や絆を育む絶好の機会です。そこで得られた経験は、社会人となられた今もみなさんに活かされていることと思

存続にかかわる危機的状況も私の不徳の致すところと反省するばかりですが、部員共々尽力して参ります。みなさんの益々のご活躍とご健康を心よりお祈り申し上げます。
(顧問) 河合 忍

助教	田中 正史
科目	電子工学基礎実験 電子制御実験
助教	橋本 秀則
科目	機械製図 CAD三次元 CAM
卒業実習	卒業実習
新任者	平成十二年十月新任 平成十三年四月新任